

平成 30 年度 大阪府立港南造形高等学校 第 2 回 学校運営協議会 議事録

日 時 平成 30 年 11 月 5 日 (月) 15:00~16:30

場 所 ガイダンスルーム

委 員 美濃 幸男 大阪樟蔭女子大学 参与 ※敬称略
宮原 康 近畿大学 非常勤講師
本田 妙子 大阪市教育センター 総括指導主事
竹林 佳子 南港東第 3 振興町会 会長
森川 雅子 大阪府立港南造形高等学校 P T A 役員

事 務 局 校長、教頭、事務長、首席、総務部長、教務部長、生徒指導部長、進路指導部長、保健部長、造形科長、第 1 学年主任、第 2 学年主任、第 3 学年主任、生徒会主担

議 事 1 開会のあいさつ (校長)

今年は、大阪北部地震、台風 21 号があり、7 日間休校せざるを得なくなった。学校行事の変更や休校の代替措置など、慌ただしい 2 学期の幕開けであったが、その中での学校の取り組みを各部・科の担当者から伝えさせていただきます。

2 委員紹介 (教頭)

3 資料説明 (教頭)

4 報告

(1) 平成 30 年度「学校経営計画及び学校評価」の進捗状況 (校長)

(2) 各部・科より報告

①総務部より

・学校広報活動について

- 1 校外での中学生向け学校説明会に 11 回参加
- 2 中学校への出前授業を実施
- 3 学校広報グッズの充実
- 4 若手教員で結成した広報グループによる広報活動の活性化

②教務部より

・振替授業について

大阪北部地震や台風 21 号による停電の影響で学校を休校せざるを得なくなり、夏季休業を短縮することや土曜日に授業を振り替えた。

③生徒指導部より

・遅刻指導実施について

現在、遅刻を減少する取組みとして、「遅刻指導強化月間」を実施中。昨年度から始めた取組みで、効果が出ている。

④進路指導部より

・第3学年の進路状況について

進学希望が約90%、うち82%が美術系の学校を希望している。学校紹介就職は、現在、10名に内定が出ている。

⑤保健部より

・学校備蓄、学校保健委員会について

今年度は自然災害に多く見舞われた。自治体が発表しているハザードマップによると、本校は液状化や津波被害の少ない地域となっているが、今後はPTA等の協力を得て、校内に食品や飲料水の備蓄を進め、設置場所についても検討する。

⑥生徒会より

・文化祭報告について

- 1 台風21号の影響で休校が続いたため、文化祭を予定より1週間遅らせて実施した。特に、日程変更の影響はなく、各企画も盛況で、来場者数も例年どおりであった。
- 2 先日、後期生徒会役員選挙があり、生徒会長に3名、生徒会副会長に2名の立候補があり、生徒会運営に関心を寄せている。

⑦造形科より

・造形科の取組みについて

- 1 第3学年は、受験に向けた普通教科の学科補習や実技講習会を放課後及び、土曜日に実施している。
- 2 第1学年は、現在、来年度の領域選択（造形3科目を選択）に向けた準備に入っている。
- 3 卒業制作展（港南展）を平成31年2月9日（土）～10日（日）の間、ATCで実施する。

⑧第1学年より

・全体的に学校の取組みに積極的であり、授業を受ける態度は良好である。学年団で生徒との関係を持つように心がけている。

⑨第2学年より

・修学旅行では、関東の美術館・博物館の見学を取り入れ、生徒の参加率は、ほぼ100%であり、アンケートでも満足度がたいへん高かった。

⑩第3学年より

- ・私立大学は、AO入試や指定校推薦で続々合格者が出ている。
- ・卒業制作展会場は、昨年度までの大阪城公園城見ホールからATCに変更する。

5 協議

（議長） 今までの報告を受けて、各委員から意見、質問をお願いします。

（委員） 冒頭に説明があった「すみのえアート・ビート2018」のような外部への取組みについて、生徒にどのような形で呼びかけ、参加を募るのか？

[事務局] 今年、始めて参加する取組みであるが、各クラスや各クラブへ呼びかけ、集まった有志である。また、参加者が周りの友人を誘って増えている。

(委員) 港南造形生は大和川の陶板ロードなど色々と活躍しているが、そのことがメディアに取り上げられることはいいことだと思う。

(委員) 校内に広報グループを作ることは良いと思う。先生方がそれに取組むことは、学校にとってとても良いこと。広報グッズも充実していて素晴らしい。費用はかかるが工夫をして、効果的な広報活動ができている。また、遅刻数減少の取組みについても、丁寧に行っているところが良い。

[事務局] 遅刻については、夜遅くまでスマートフォンを使用しているので、朝起きられないケースが多い。

(委員) 港南造形高校のアピールポイントとして、実際に作家として活動している先生方に触れること、身近にいることはとても良い点だと思う。

(委員) 外部に対して、「港南造形って何ができる学校？」ということをもっと宣伝することが大切である。例えば、学校ホームページに先生方や先生方の作品を掲載するなど、造形の専門分野をもっと詳細に発信してはどうか？

(委員) イタリアへの研修旅行を再開するのは良いことだ。最近のヨーロッパの現状は、フランスのテロ直後とは違い、ずいぶん穏やかな雰囲気になってきている。

(委員) 卒業制作展は入場者数を増やすのが難しい課題。生徒や保護者、知人は来ていただけると思うが、一般の方が入場していただけるかどうかポイント。その仕掛けが必要。

(委員) 地域の集まり等に来ていただき、港南造形高校の宣伝していただければ地元の住民も卒業制作展を見に行くと思う。卒業制作展の集客に向け、お手伝いできることがあれば、声をかけてほしい。是非、協力をしたい。

6 閉会の挨拶（校長）

ご意見にありました学校HP上に先生方の作品を見ることのできるページ作ることは、是非、考えていきたいと思えます。

本日は、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。